

月刊

月刊 グラフィックサービス 令和8年8月10日発行(毎月1回発行) 通巻897号

GS

# グラフィックサービス

No.897  
2026 8

有限会社三共印刷所  
代表取締役  
井上 貴寛さん

## 第68回 ジャブラ文化典 大阪大会レポート

- 巻頭言** 経験を重ね、未来をひらく  
—— 有限会社 三共印刷所 代表取締役 井上 貴寛
- 連載** 松谷の突き抜ける!SPACE-21 SPACE-21 幹事挨拶
- PM取得  
企業紹介** PM企業クローズアップ  
西谷印刷株式会社 個人情報保護委員会 委員長 西谷 毅
- 会員企業  
紹介** キラ星ジャグリスト  
—— 菁文堂株式会社 代表取締役社長 竹内 靖貴
- NEWSと  
お知らせ** 日印産連一取引適正化に関する実態調査  
最終集計(業界の傾向として)

一般社団法人  
日本グラフィックサービス工業会



UD  
FONT  
by MORISAWA



- 1 ■巻頭言  
経験を重ね、未来をひらく  
有限会社 三共印刷所 代表取締役 井上 貴寛
- 2 ■巻頭企画  
第68回  
ジャグラ文化典大阪大会レポート
- 6 ■プライバシーマーク取得企業紹介  
東京文京支部 西谷印刷株式会社  
個人情報保護委員会 委員長 西谷 毅
- 8 ■ジャグラプライバシーマーク審査センター  
個人情報取り扱い印刷物の実態調査報告
- 22 ■連載  
松谷の突き抜ける！SPACE-21  
SPACE-21 幹事挨拶
- 24 ■会員企業紹介  
キラ星ジャグリスト  
—— 舊文堂株式会社 代表取締役社長 竹内 靖貴

- NEWSとお知らせ
- 10 日産連—取引適正化に関する実態調査  
最終集計（業界の傾向として）
  - 20 ジャグラBBへGO！
  - 26 業界の動き  
マスターズクラブ 大阪大会に合わせてゴルフコンペ  
九州地協 福岡で通常総会開く  
栃木県支部 次年度関地協大会に向けキックオフ  
モトヤ コラボレーションフェア東京を開催  
特許庁・公正取引委員会・中小企業庁  
「知財取引指針」を掲げる  
令和8年熊本地震義援金ご協力をお願い
  - 28 アプリスタンプラリー
- 
- 23 雑学コラム④
  - 29 事務局日誌と今後の予定
- 広告インデックス
- 13 富士フイルムグラフィックソリューションズ(株)
  - 14 (株)ショーワ
  - 15 ホリゾン・ジャパン(株)
  - 16 (株)モリサワ
  - 17 (株)モトヤ
  - 18 リコージャパン(株)
  - 19 東京リスマチック(株)
  - 表4 リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)

## 月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

| 【概 要】 |                                    |                                   |
|-------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 発行回数  | 月1回 / 年間12回                        | 配布方法                              |
| 購 読 料 | ジャグラ会員は無償（会費に含む）<br>・希望企業、団体への有償配布 | ・全会員へ直接郵送<br>・ジャグラホームページからのダウンロード |

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください  
Eメール edit@jagra.or.jp 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006  
お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 〒103-0001（一社）日本グラフィックサービス工業会 宛

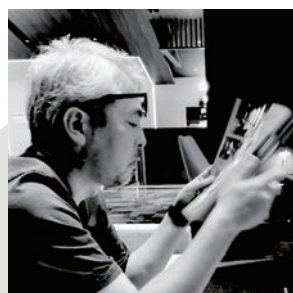
## ■巻頭言

# 経験を重ね、未来をひらく

有限会社 三共印刷所

代表取締役

井上 貴寛



Cover Person

本年度より、全国理事を務めさせていただくことになりました。有限会社三共印刷所の井上と申します。

知識は、経験して初めて、自分のものになっていく。

私はもともと、グラフィックデザイナーの仕事をしていました。文字や写真、色や形を組み合わせながら、伝えたいことを目に見え形にしていくな。デザインの仕事には、考える面白さと、つくる楽しさがありました。その後、家業である印刷会社に入りました。同じものづくりの仕事とはいえ、デザインと印刷では、見える景色がかなり違います。紙の種類、インキの性質、印刷機の特徴、加工や製本の方法。知っているつもりでも、実際にやってみると思い通りにならない。そんなことの連続でした。紙に触れ、機械の音を聞き、色の仕上がり悩み、お客様の話を聞く。うまくいかないこともあれば、予想していなかった良い仕上がりに出会うこともあります。そうした一つひとつの経験が、少しずつ自分の判断や工夫につながっていきました。

印刷の現場に入ってから、そんなことを実感するようになりました。そして、私にとっても一つ大きかったのが、同じような境遇の仲間たちとの出会いです。家業として印刷会社に入り、受け継いできたものを大切にしながら、新しいことにも挑戦している人。デザインや営業など、別の世界から印刷業界に入り、新しい視点を持ち込んでいる人。それぞれの話を聞いたときに、「そんな考え方もあるのか」「それなら、自分たちにもできるかもしれない」と、少しずつ視野が広がっていききました。会社の中では当たり前前だと思っていたことが、外に出ると当たり前ではない。反対に、自分たちでは特別だと思っていたことが、ほかの人から見ると大きな強みだったりもします。人と出会い、話をして、同じ時間を過ごす。そうした体験が、それまで持っていた知識を揺さぶり、新しい知恵に変えてくれるのだと思います。

「知識でなく、知恵を求めよ。知識は過去の産物だが、知恵は未来をもたらす」ネイティブ・アメリカンのラムビー族に伝わる言葉です。この言葉に触れたとき、これまでの自分の歩みと、印刷業界のこれからが重なりました。

印刷業界は、ここ何年も大きな変化の中にあります。デジタル技術やAIの進化、紙媒体を取り巻く環境の変化。これまでのやり方だけでは、先が見えにくいと感じる場面も増えています。けれど、私たちの手元には、これまで積み重ねてきたたくさんの知識と経験があります。印刷の技術だけではなく、お客様の思いをくみ取ること。伝えたいことを整理すること。地域の人や企業をつなぐこと。限られた条件の中で、より良い形を考えること。私たちは日々の仕事の中で、実はとても多くの経験を重ねています。大切なのは、それを過去のものにしてしまわないことです。

これまでの知識や経験を、今の時代に合わせて使い直してみる。別の技術と組み合わせる。誰かと共有して、新しい視点を加えてみる。そうすることで、知識は未来をつくる知恵に変わっていくのではないだろうか。これからの印刷業界に必要なのは、たった一つの正解を探すことではないと思います。それぞれの会社が持つ技術や経験を持ち寄り、まずは試してみる。うまくいったことも、いかなかったことも話してみる。そこから、これまでになかった価値が生まれてくるのだと思います。

「G&Sは、全国の仲間と出会い、経験を共有できる場所です。会社の規模や地域を越えて、さまざまな知識や体験が集まっています。自分の中だけでは生まれなかったアイデアも、人とながらること、ふっと形になることがあります。私自身、まだまだ学ぶことがたくさんあります。全国の皆さまと出会い、それぞれの経験や考えに触れられることを、今から楽しみにしています。

# 第68回 ジャグラ文化典

## 大阪大会レポート

6月20日(土)、大阪府のリーガロイヤルホテル大阪で、「第68回ジャグラ文化典 大阪大会」が開催されました。大阪大会実行委員会が一丸となって企画・運営を行い、「未来を創ろう 叡智の台所～なにわの地にて～」という大会スローガンのもと、盛大に行われました。

## 第61回定時総会

「ジャグラから始めよう」原田大輔新会長による新体制がスタート



原田新会長による所信表明

続いて、岡本泰会長がこれまでの活動に対する感謝とともに挨拶しました。

議事では、第1号議案から第6号議案まで滞りなく、原案通り承認されました。

任期満了に伴う役員改選では、原田大輔副会長が新会長に選任されました。所信表明で原田新会長は、「70年以上の歴史ある会の舵取りを担う責任を胸に、特に『会員拡大』に注力し、会員同士の繋がりを強めることで各社の事業拡大に寄与

が新しい一歩を踏み出す際に背中を押せる団体でありたい」と強い意気込みを語りました。

総会終了後は、組織拡大表彰が行われ、神奈川県支部、東京・千代田支部、東京・城東支部、東京・城西支部、東京・三多摩支部、愛知県支部の6支部に金一封が贈られました。

その後、今回の改選で退任された後藤卓也副会長、尾形文貴副会長、渡辺辰美理事、松原巧理事、伊東邦彦理事、宮澤徹理事、松下忠理事、土慶一郎理事、善甫博史監事に感謝状贈呈が行われ、代表して尾形副会長が登壇し、授与されました。

今回、岡本会長から感謝を込めて行われた会長特別表彰では、本部会計の健全化に尽力した谷川聡理事、ジャグラコンパクトDXの推進に貢献した岸昌洋氏(株)正文舎・北海道、委員会活動において才を発揮した高橋亮太氏(有)高橋平版社・栃木)の3名が表彰されました。

最後に、原田新会長の音頭で大会スローガン「価値競創を実践し選ばれるグラフィックサービスを築こう!」を高唱し、総会は終了しました。

第61回定時総会は、大阪大会実行委員会の木原庸裕実行委員長が「交流を通じて得た知見を各社に持ち帰り、業績がさらに伸長し、社会に貢献できるという正のスパイラルが回っていく一助になれば」と思い、準備をしてきました」と歓迎の挨拶を述べて始まりました。

できる体制を作りたい」と強調しました。さらに、次世代への継承や、地協・支部・本部が一体となった活動の重要性にも触れ、「新しい出会いを、新しい学びを、新しい仕事を、新しい挑戦を『ジャグラから始めよう!』と力強く呼びかけました。行動の起点をジャグラとし、会員



岡本会長



木原実行委員長



会長特別表彰  
(左から岸氏、谷川理事、高橋氏)



退任役員表彰(尾形副会長)



感謝状を贈呈された退任役員



選任された新役員

## 第68回ジャグラ文化典式典

定時総会に続いて、第68回ジャグラ文化典式典が開会しました。

岡達也副会長による開会宣言、国歌斉唱に続き、大阪大会の松下運営統括が歓迎の言葉を述べました。主催者を代表して岡本会長が挨拶した後、ご来賓が紹介されました。代表して近畿経済産業局産業部 サービス・コンテンツ産業室の

鈴木順一室長、一般社団法人日本印刷産業連合会の高島淳一専務理事よりご祝辞を賜り、大阪府の吉村洋文知事からの祝電も披露されました。

式典の中盤では、業界功労者表彰が執り行われました。中島博氏(株)中島プリント商会・群馬)が発展功労賞を受賞したほか、上澤宏史氏(株)クリエ



岡副会長による開会宣言



松下運営統括歓迎の言葉

イト横浜・神奈川)、清水幹友氏(株)ユニックス・愛知)、小野徹氏(小野高速印刷(株)・兵庫)(代理受領)湯川祥史郎氏(が永年協力賞を受賞、岡本会長より表彰状と記念の盾が授与されました。その後、受賞者を代表して中島氏が謝辞を述べました。

続いて優良従業員表彰が行われ、村上泰佑氏(株)研美社・東京・中央、樫尾亮氏(株)ウイング・和歌山)、加藤綾氏(株)ニシキコネクト・広島、坂森博美氏(株)ニシキコネクト・広島)の4名が表彰され、樫尾氏が代表して謝辞を述べました。

その後、ジャグラ作品展の表彰が開始、経済産業大臣賞の出版部門を受賞した(株)リーブル(高知)、同賞の宣伝部門を受賞した(株)羽車(大阪)、厚生労働大臣賞の業務用印刷部門を受賞した日本新聞印刷(株)(東京・港、同賞の開発・開拓部門を受賞した(株)クイックス(愛知)が登壇し、表彰を受けました。

各種表彰の後、大会旗の伝達式が行われました。小幡利之運営委員長から岡本会長へ大会旗が返還され、次期開催地である北陸地方協議会・新潟大会

の黒沢康憲運営委員長へと引き継がれました。続いて、平田大輔実行委員長が新潟大会をPRし、参加を呼び掛けました。式典の最後には、大阪大会の運営を担った松下運営統括、小幡運営委員長、木原実行委員長へ感謝状が贈呈され、後藤副会長の閉会挨拶をもって式典は終了しました。



永年協力賞

上澤宏史

(株)クリエイイト横浜(神奈川県)



発展功労賞

中島博

(株)中島プリント商会(群馬県)



永年協力賞

清水幹友

(株)ユニックス(愛知県)



永年協力賞

小野徹

小野高速印刷(株)(兵庫県)



優良従業員表彰

左から  
坂森博美(株)ニシキコネクト(広島県)、加藤綾(株)ニシキコネクト(広島県)、  
樫尾亮(株)ウイング(和歌山県)、村上泰佑(株)研美社(東京都・中央)



大会旗伝達式(左から小幡氏、岡本会長、黒沢氏)



作品展受賞者

## 特別講演会

文化典式典終了後、岡本会長による特別講演会が開催されました。

講演の前半では、任期中に推進してきた「ジャグラコンパクトDX」について触れ、数字に強い経営者を育てることや、小規模印刷会社が自社の限界原価を把握し利益を確保することの重要性を強調し

ました。また、全国37支部を訪問した際の思い出が語られ、各地の会員や先輩、共に奔走した同級生たちからの温かい支援と、次代へ繋ぐ「恩送り」の精神への深い感謝が述べられました。

後半では、これからの印刷業界が生き残るための4つの道筋が提示されました。

1つ目は「印刷技術に特化する」こと、2

つ目は「地域を徹底的に支援すること」、

3つ目はデータベースとAIを組み合わせた「コンテンツビジネス」の展開、そし

て4つ目は事業承継の選択肢としての「M

& A」です。さらに、印刷業界が下請け

から脱却し、産業界における地位を向上

させていくことの必要性も述べました。

結びには、マスターズクラブ、正会員、

そして青年部であるSPACE-21の三世

代が一体となって会を継続していくこと

の重要性が語られ、原田新会長を中心と

したこれからのジャグラへの期待とともに講演は締めくくられました。

## 大懇親会

大懇親会は、木原実行委員長の開会挨拶で始まり、岡本会長、原田新会長からの挨拶が行われました。その



岡本会長への花束贈呈

後、全日本印刷工業組合連合会の高本隆彦副会長よりご祝辞、近畿印刷工業会の作道孝之会長の乾杯の発声で開宴しました。

懇親会では、ジャズバンドの演奏が会場を彩り、大阪ならではの串カツやたこ焼きの屋台が用意され、参加者は食事と交流を楽しみました。

途中、大阪大会実行委員らによる寸劇や、岡本会長への花束贈呈がありました。「河内音頭」の披露もあり、その後、サプライズで登場した芸人の「ミルクボーイ」の漫才で盛り上がりは最高潮に達しました。

ジャグラの活動PRではSPACE-21の代表幹事を務める松谷勝広氏や愛知の青年会・愛青会の高橋氏が、11月に愛知県で開催されるSPACE-21全国

協議会 愛知・名古屋大会をPRしました。

また、次期開催地である新潟大会の黒沢運営委員長、平田実行委員長をはじめとする新

潟大会実行委員会メンバーが登壇し、地元な

らではの魅力と次期大会への意気込みをア

ピールしました。

中締めは、山本耕司氏(株)やまかつ・大阪の首頭で大阪支部名物

「二歩締め」が行われ、参加者全員が「会社が一歩でも前へ進むように」と願いを込めて一歩踏み出しながら手を打ち、お開きとなりました。



SPACE-21 が名古屋大会をPR



新潟大会PR

東京文京支部

## 西谷印刷株式会社

個人情報保護委員会 委員長 西谷 毅



西谷毅 氏（個人情報保護委員会 委員長）

### はじめに

こんにちは。この度、個人情報保護委員会委員長を務めさせていただくことになりました。東京文京支部の西谷印刷株式会社・西谷です。

当社は、東京の中でも比較的高層ビルの少ない下町・江東区に拠点を構え、組版・POD（オンデマンド印刷）、表面加工、無線綴じ、ダイカットなどを手掛けている会社です。現在、私を含めて12名、第58期を迎えております。

分業体制の多い東京ではありますが、当社は小回りの利く「細かい案件」や「バリエーション印刷＋特殊加工」といった付加価値の高い案件を得意としています。最近では、環境配慮型の合成紙「LIMEX」を活用して、イベント用の使い捨てリストバンドや、災害時に安否を確認できる「災害時安否確認カード」などを開発し、Webで販売しています。LIMEXは全種類を常時在庫しているの、急なご依頼にもすぐ対応できるのが当社の強みの一つです。「気の利いたものづくり」をキーワードに、当社でお役に立てそうな商品を考えて展開しています。

### 「半信半疑」から始まったPマーク取得

さて、「Pマーク（プライバシーマー

ク）取得が当社にとって必須だったか？」と振り返ると、当時は正直なところ「そこまででもないかな…」というのが本音だったと思います。当時は今ほどネット経由の受注や問い合わせが多くなり、扱う個人情報と言え社内情報、名刺印刷、あいさつ状の宛名、ご注文いただいた社内報の記事中のお名前くらいのものだったからです。

ですが、ニュースなどで個人情報流出の話を目にするたびに「やっぱり取得しておいた方がいいのかな…」という思いはありました。また、これからネットを通じて受注などを行うようになれば、お客様への安心感や社内体制にも良いはずだという考えもありましたし、既存のお客様から「Pマークを持っていただければお声がけできるんだよね」といったお話があったこともきっかけでした。

### ジャグラの仲間と

### 取り組んだ体制づくり

実は、当社がジャグラに入ったきっかけこそが、Pマーク取得のタイミングでした。同じ文京支部の文成社さんと甲文堂さんの3社でキックオフを行い、Pマーク取得に向けた取り組みをスタートさせて、2020年6月に取得しました。3社集まったことでコンサルティング費用が3分の1になり、大変助かったのを覚えています。

当時の体制は「代表者」と「個人情報保護管理者」の2名で動き出し、「個人情報保護監査責任者」には、たまたまそのタイミングで入社した監査経験のある社員に担当してもらうという、結構場当たり的な進め方でした。当時は紙やデータが社内のあちこちに散らばっていたので、台帳を作って把握し、安全管理に移行するにはかなり苦労しました。また、当時は本社工場1か所で営業していたので人の出入りも激しく、立ち入り制限をするのも一苦労でした。

現在では拠点も3か所に分かれ、管理者も別の者に引き継いで、この6月に無事「3度目の更新」を迎えることができました。

### Pマークがもたらした「受注」と「信頼」という成果

3度も更新を重ねてくると、さすがにPマーク指定の入札案件なども多少出てくるようになりました。

例えば営業担当の事例ですが、表彰対象者の個人情報（住所・氏名・出欠・希望品など）を扱う案件があります。単なる印刷・封入・発送だけでなく、「返信ハガキの回収・データ入力」まで一貫して受託している案件です。こういった注意が必要な案件も、Pマーク取得の体制

があるからこそ、安全に完遂できていると感じています。

また、Pマークが必須条件ではない案件でも、取得していたからこそ信用していただいたケースがありました。当社は競馬の仕事もしているのですが、その中でも毎週かなり機密性の高い個人情報を扱っています。大変条件が厳しかったため大手の会社様が断った案件でしたが、当社がPマークを取得していることが分かる、お客様側でも「西谷印刷に依頼する明確な理由になる」と声をかけていただいたのがとても印象的でした。

さらに、名刺の受注などでも、お客様より当社の方が個人情報への意識が高い状態を保っているため、安心してご注文を継続していただけることに繋がっています。Pマーク取得企業同士だと書類を交わすのも早いですし、案件のリスクなどを把握する際の意思疎通も早くなるので、その点でも効果を実感しています。

### 今後の展望と

### 委員長としての想い

今後の展望として、大きなことを打ち出すつもりはないのですが、「個人情報を預けても安心できる会社」として認識していただき、個人情報を伴った案件を増やしていきたいと思っています。特にデジタル印刷は個人情報を取り扱うことが非常に多いので、更新するたびに運用



自社開発の合成紙LIMEX製「災害時安否確認カード」



セキュリティキーとPマーク登録証が掲示された本社工場入口



個人情報を含むヤレ紙などを厳重に管理・廃棄する「PMS基準 廃棄BOX」

ジャグラプライバシーマーク審査センター

# 個人情報取り扱い印刷物の 実態調査報告

## 調査の背景と目的

### (1) 背景

印刷業界は、官公庁・自治体が発注する住民向け文書、通知書、申請書類等の印刷を広く担っており、その過程で住民の氏名・住所・個人番号等の個人情報を取り扱う事が多々あります。しかし、発注側である官公庁の入札案件で、個人情報を取り扱う印刷業務であるにも関わらず、安全管理措置などが規定・ルール化されていない事業者が落札するケースが多く、印刷物の個人情報不適切に取り扱われている現状があります。

そこで今回、ジャグラのプライバシーマーク審査センターは、官公需取引における個人情報取り扱い業務に関する実態を把握すべくアンケートを実施しました。その結果をご報告します。

なお、本調査結果は、経済産業省に提出し、官公需等における個人情報取り扱い印刷物への配慮を要請しました。

### (2) 目的

本調査は、印刷業界における個人情報取り扱いの現状を定量的に把握し、以下の点を明らかにすることを目的として実施

しました。

- ・官公庁の印刷案件への応札状況と、個人情報を含む業務の実態
- ・個人情報保護に関する資格の取得状況と、その入札条件への影響
- ・資格取得の有無にかかわらず生じている個人情報配慮の必要性
- ・地域ブロック・支部ごとの実態の差異

### (3) 調査概要

調査対象：全国の会員企業

調査方法：Webアンケート(Googleフォーム)

調査時期：2026年5月

有効回答数：244社(全国36支部)

### (4) サマリー

官公庁案件への応札経験あり 66.0%  
個人情報保護資格を保有 51.6%  
配慮案件が「あった」と回答 76.2%

### (5) 調査結果

#### Q1. 官公庁の印刷案件への応札状況

官公庁の印刷案件への応札状況について尋ねたところ、「現在、応札している」が55.7%と過半

#### Q3. 資格が入札条件だった場合

個人情報を含む案件のうち、関連資格が入札条件として課されていた割合を尋ねた。「1〜3割」が84.1%と最多だが、「7〜10割」の案件で資格が条件とされているケースも7.2%存在し、資格の条件化が一部で進んでいることが確認された。

#### Q5. 一般業務における個人情報取扱いの割合

官公庁案件に限らず、一般業務全体において個人情報を取り扱う割合を尋ねた。「1〜3割」が81.6%と最多だが、「4〜6割」「7〜10割」の合計が約16%に達しており、日常的に高い割合で個人情報を扱う事業者も一定数存在する。

#### Q6. 資格不要だが個人情報配慮が必要な案件の有無

資格が入札条件ではないにもかかわらず、個人情報への配慮が実務上必要と判断した案件があったかを尋ねた。76.2%が「あった」と回答しており、資格制度の対象外に置かれた案件においても、広く個人情報リスクへの対応が求められている実態が明らかとなった。

### (6) 地域別分析

所属支部・地域ブロック別に応札経験率・資格保有率・配慮案件発生率を集計し、地域ごとの実態の差異を分析した。

| 選択肢                  | 割合    |
|----------------------|-------|
| 未取得                  | 46.3% |
| プライバシーマーク (P マーク)    | 42.2% |
| ISMS (ISO/IEC 27001) | 4.9%  |
| JPPS                 | 2.9%  |
| その他・返上・複数取得等         | 5.7%  |

個人情報保護に関する資格の取得状況を尋ねたところ、「未取得」が46.3%と最多となった。プライバシーマーク取得が42.2%、ISMS・JPPS等を含めると資格保有者全体は51.6%に達する。

| 選択肢    | 割合    |
|--------|-------|
| 1〜3割   | 81.6% |
| 4〜6割   | 10.7% |
| 7〜10割  | 5.3%  |
| なし・その他 | 2.5%  |

| 選択肢     | 割合    |
|---------|-------|
| あった     | 76.2% |
| なかった    | 21.7% |
| 無回答・その他 | 2%    |

| ブロック   | 回答数  | 応札経験率 | 資格保有率 | 配慮案件率 |
|--------|------|-------|-------|-------|
| 北海道・東北 | 33 社 | 81.8% | 57.6% | 75.8% |
| 関東     | 94 社 | 63.8% | 62.8% | 76.6% |
| 中部・北陸  | 34 社 | 61.8% | 35.3% | 82.4% |
| 近畿     | 35 社 | 68.6% | 60%   | 80%   |
| 中国・四国  | 36 社 | 58.3% | 36.1% | 63.9% |
| 九州・沖縄  | 12 社 | 66.7% | 16.7% | 83.3% |

数を占め、「過去に応札していた」(10.2%)を含めると、3分の2(65.9%)の事業者が官公庁案件に関わった経験を持つ。

#### Q2. 応札案件における個人情報を含む業務の割合

応札経験者を対象に、案件のうち個人情報を含む業務の割合を尋ねた。「1〜3割」が92.3%と大多数を占め、ほぼすべての応札経験者の業務に個人情報が関係していることが示された。

| 選択肢     | 割合    |
|---------|-------|
| 1〜3割    | 92.3% |
| 4〜6割    | 3.6%  |
| 7〜10割   | 2.1%  |
| なし・該当なし | 2.1%  |

# 取引適正化に関する実態調査 最終集計 (業界の傾向として)

## 1 概要

本資料は、印刷産業全体における取引適正化の実態把握を目的として実施した調査の結果について、2026年5月22日までに回答のあった332件を集計・整理したものである。

### 主な発注側企業の属性

#### ①発注側企業の業種

回答は複数業種に分布、印刷・同関連業の割合が最も高く、次いで出版業が続く。

#### ②主な取引先との価格協議の状況

価格協議については、「実施されている」旨の回答が8割を超えている一方で、協議の申し入れに応じない事例が14件（4％）確認できた。

#### ③価格協議を申し入れなかった理由

本設問について、「自社からは価格協議を申し入れなかった」（25件）の回答理由は様々だが、失注の懸念という理由が最多であった。

#### ④価格協議の結果（価格への反映状況）

「ある程度反映」「一部のみ」が半数以上となったが、「概ね反映（80％以上）」は28％にとどまり、反映無しが7％確認された。

#### ⑤価格協議の対象となった主なコスト要因

複数回答ではあるが、原材料費（38％）および人件費（18％）を対象とする回答が多く見られる。

## 2 総括

本調査では、全国の印刷関連事業者332社から回答を得て、取引適正化に関する実態を把握した。

回答企業の発注側との取引年数は「10年以上」が85％を占めており、長期継続取引を前提とした取引関係の中での実態が反映されている。

価格協議については、「発注側から価格協議の申し出があった」および「自社から価格協議を申し入れ、協議に応じてもらえた」を合わせると83％となり、多くの取引先において価格協議の機会が設けられていることが確認された。

一方、価格協議の結果については、「コスト上昇分を概ね反映できた」が28％、「コスト上昇分をある程度反映できた」が27％となっており、一定程度の価格転嫁は進んでいるものの、コスト上昇分の十分な反映にはなお課題が残されている

る。また、「コスト上昇分を一部のみ反映できた」「ほとんど反映できなかった」「価格は据え置きとなった」との回答も一定数存在しており、価格転嫁の更なる推進が必要である。

また、制作・校正対応、修正対応、検査・検品、物流・納品、保管・管理、情報セキュリティ対応など、多くの工程で十分な対価が支払われていないと感じる回答が見られた。特に、予定回数を超える校正作業、データ差替・再入稿対応、検査・検品・後工程作業、横持ち運賃・多拠点納品、長期在庫保管費の無償負担などが課題として挙げられている。

さらに、無償業務の有償化は、「有償化された」および「一部のみに有償化された」を合わせても44％にとどまっており、無償業務の解消に向けてはなお改善の余地が大きい。

製版データや抜型等の保管については、上場企業との取引、中小企業との取

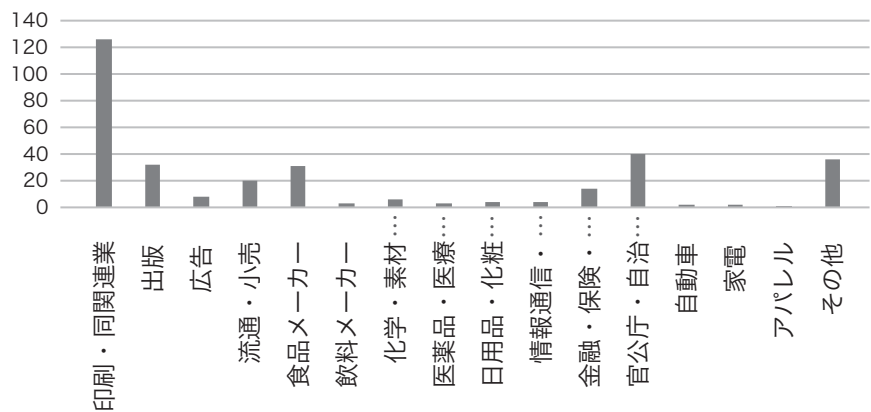
引のいずれにおいても、「保管しているが、保管料は受領していない」との回答が最も多く、保管業務に係る費用負担が依然として受注側企業に残されている実態が確認された。

また、無償対応や追加作業に関する価格協議については、「行われていない」が50％を占めており、価格協議の実施は27％にとどまった。一方で、価格協議が行われた企業（88社）に係る価格・条件協議の結果では、「概ね反映した」が19％、「一部のみに反映された」が33％となっているものの、「概ね反映した」は2割に満たず、無償対応の有償化や取引条件の適正化に向けて、更なる協議の進展が求められる。

相談窓口の利用経験は4％にとどまっており、制度の周知や活用促進も課題として挙げられる。

本調査の結果から、価格協議の実施や価格転嫁には一定の進展がみられるものの、十分な対価の確保や無償業務の有償化、保管費用の適正な負担など、取引適正化に向けた課題は依然として多く残されていることが確認された。今後は、価格協議の継続的な実施とともに、付帯業務を含めた取引条件の見直しを一層進め、取引適正化の更なる推進につなげていくことが重要である。

発注側企業の業種



主な取引先との価格協議の状況

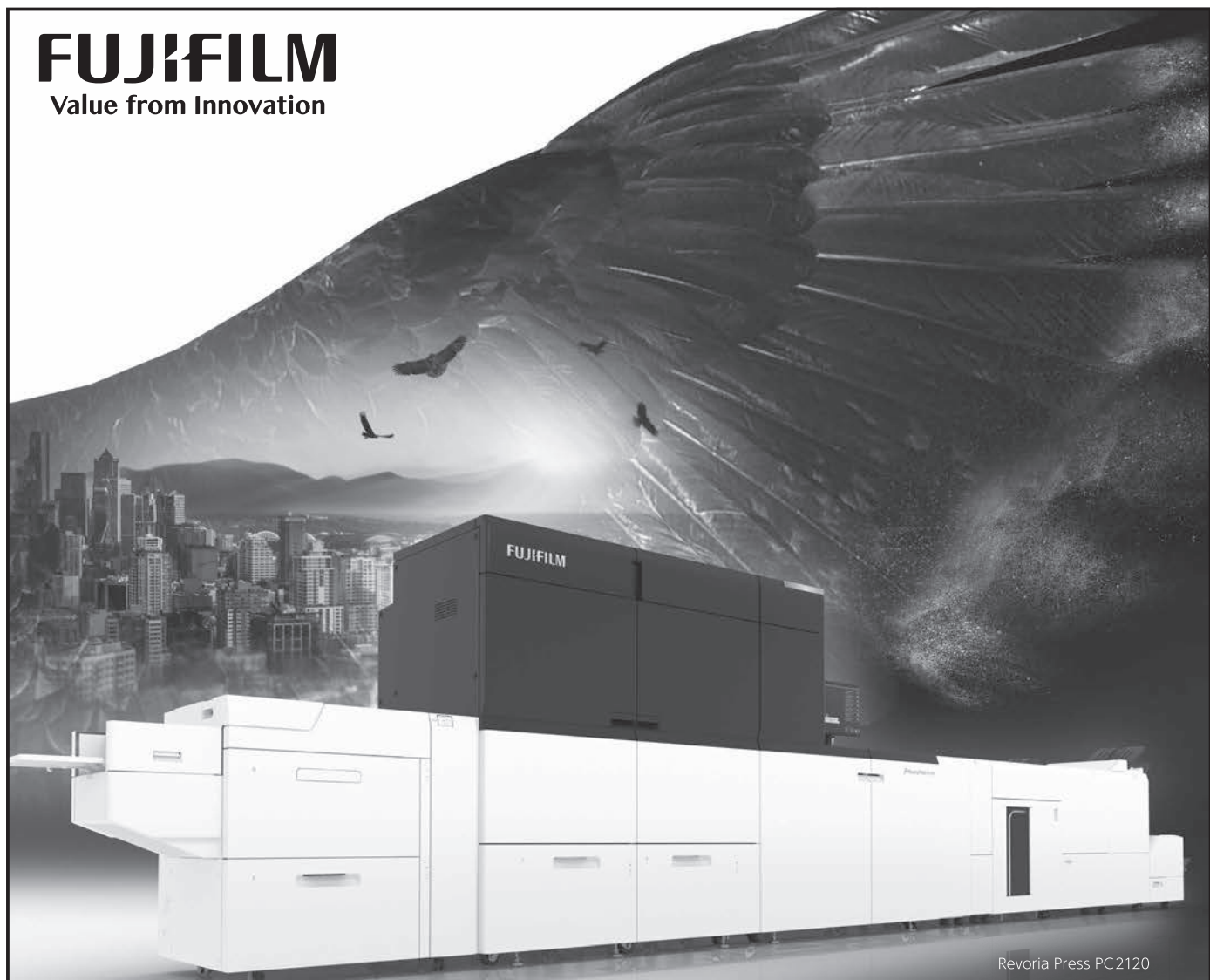
|                                | 回答数 | 率  |
|--------------------------------|-----|----|
| 発注側から価格協議の申し出があった              | 24  | 7  |
| 自社から価格協議を申し入れ、協議に応じてもらえた       | 251 | 76 |
| 自社から価格協議を申し入れたが、協議に応じてもらえなかった  | 14  | 4  |
| 協議の形式はあったが、実質的には発注側による一方的決定だった | 18  | 5  |
| 自社からは価格協議を申し入れなかった             | 25  | 8  |

332

価格協議の結果（価格への反映状況）

|                           | 回答数 | 率  |
|---------------------------|-----|----|
| 該当なし（価格協議は行っていない）         | 34  | 10 |
| コスト上昇分を概ね反映できた（80～100％）   | 92  | 28 |
| コスト上昇分をある程度反映できた（50～79％）  | 91  | 27 |
| コスト上昇分を一部のみに反映できた（10～49％） | 89  | 27 |
| コスト上昇分をほとんど反映できなかった（1～9％） | 18  | 5  |
| 価格は据え置きとなった（0％）           | 7   | 2  |
| 価格は引き下げられた                | 1   | 0  |

332



Revoria Press PC2120

**Revoria Press™**

## 信頼性と創造力で、 ビジネスの新たな地平を拓く

Revoria Press シリーズは、  
プロダクション・プリンティングの領域で積み重ねた信頼性と  
これまでにない付加価値を導く創造力で、  
ハイエンドのプロフェッショナルからオフィスまで、  
お客様のビジネスの成功に向かってともに進みます。



下からRevoria Press EC2100S / EC2100、  
Revoria Press SC285S / SC285、Revoria Press E1 series

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL:03-6271-5111 (代表)  
http://fujifilm.com/fb

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社  
〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル TEL:03-6419-0300 (代表)  
https://www.fujifilm.com/fjgs/ja

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、  
富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。  
Revoria Press、Revoria Press ロゴは  
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の  
登録商標または商標です。

日印産連の活動ピックアップをご紹介します。

JFPIREPORT冊子と同内容のPDFを  
掲載しておりますのでぜひ併せてご覧ください。

# JFPIREPORT

ダイジェ  
スト版

各タイトル横の番号ごとに、  
WEBページで詳細がご覧いただけます。  
右記のQRコードよりご確認ください。



## 第41回定時総会・理事会を開催 役員改選、大橋輝臣氏が新会長に就任

2026年6月10日(水)、東京・紀尾井町のホテルニューオータニにて、  
第41回定時総会、理事会を開催いたしました。定時総会では、  
2025年度の事業報告並びに決算報告、2026年度の事業計画並び  
に収支予算、役員選任について審議され、それぞれ原案どおり可決  
されました。

続いて開催された第2回理事会では、任期満了にあたり「会長・副会  
長・専務理事・常務理事・常任理事・顧問・相談役 選任」が審議され、  
会長には新たに共同印刷(株) 代表取締役社長の大橋輝臣氏が就  
任、理事38名と監事3名による新体制がスタートしました。総会後  
には会場を移し、新体制のスタートを祝う懇親会が開催されました。



会場風景

大橋新会長  
挨拶



歴前会長挨拶

【1-1】2025年度決算報告および  
2026年度事業計画

【1-2】役員一覧

新たなビジネス事例

## 印刷イノベーション 最前線! 第5回

〈BtoCコンテンツ事業事例〉  
高品質重視の同人誌・グッズ製作で新市場を開拓  
株式会社 緑陽社 (東京都)

- 信頼に依って高品質・高価格路線を確立
- Web上できめ細かいサービスを提供



本社社屋



特殊加工した同人誌も作っている

## グリーンプリンティング 公式キャラクター「ジッピー」誕生!

—1分アニメーションとともに、  
環境配慮印刷の魅力を  
より分かりやすく発信—

ぼくジッピー!  
新しくなったぼくがGPを紹介するね

●GP紹介1分動画



【3】  
グリーンプリンティングのことを  
ジッピーが短く・やさしく1分で紹介。営業現場で  
“説明の手間が減る”動画になっております。

Q グリーンプリンティング



●その他の活動などについてもWEBページに掲載、更新しておりますので、ぜひご覧ください。【7】

印刷用語集

聞きなれない専門用語も多い印刷用語をカテゴリ別  
や50音で探すことができ、わかりやすく解説しています。

「印刷って、何?」が、楽しくわかる  
ぷりんとぴあ

印刷産業 Monthly Report

各種統計データなどを基に、印刷業の動向、国内経済動向から得意先市場の動  
向、及び印刷に関わる資機材業の動向を毎月末に公表しています。

出版物のご案内

印刷会社のみなさんに役立つ情報を掲載した小冊子をご購入いただけます。

## 「第59回 造本装幀コンクール」 受賞作品決定【4】

2026年6月3日(水)、出版クラブピ  
ルにおいて審査会を行いました。  
295点の応募作品の中から、22点  
の受賞作品を決定しました。入賞  
作品の詳細は、日印産連のHPでご  
覧いただけます。



左上: 文部科学大臣賞『吉田亮人「The Dialogue of Two」』(Three Books 刊)

左下: 東京都知事賞『詩集 雲ノ平』(今宿末悠 刊)

右: 経済産業大臣賞『Dropped Water, Dropped Fruit』(COO BOOKS 刊)

## 第65回ジャパン パッケージング コンペティション(JPC)授賞式【5】

2026年5月29日(金)午後1時よりホテルグランドヒル市ヶ谷にて、  
ジャパンパッケージングコンペティション(JPC)授賞式が開催され  
ました。入賞作品の展示会を、以下の通り開催いたしますので、ゼ  
ひ足をお運びください。

▽東京: ペーパーボイス東京=7月21日(火)~7月30日(木)

東京都中央区新川1-22-11

▽東京: 印刷博物館=10月17日(土)~2027年1月17日(日)

東京都文京区水道1丁目3番3号 TOPPAN小石川本社ビル

展示内容: 経済産業大臣賞両作品以下、「経済産業省製造産業局  
長賞」、「経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞」、各後援団  
体賞、主催者賞、部門賞の計41作品。



**Horizon**  
Change the focus

Horizon Smart Factory 2026 in HIP

# 無人化との共存

*FIRST TOUCH*

[For Japan Days] 国内プログラム期間

**28<sup>WED</sup> – 30<sup>FRI</sup>**  
**Oct. 2026**  
**10:00 – 17:00**

[For International Days] 海外プログラム期間

**4<sup>WED</sup> – 6<sup>FRI</sup>**  
**Nov. 2026**

株式会社ホリゾン 本社びわこ工場内 Horizon Innovation Park  
(滋賀県高島市新旭町旭1600)

2026 年、ホリゾンは「無人化との共存」という新たな領域に挑みます。

本イベントでは、印刷・後加工・梱包・運搬の全工程で実現された  
無人システムをさらにブラッシュアップ。  
AGV、ロボット、さらにはドローンなど自律型技術を駆使し、  
人の介入を最小限にしつつ、  
実際の印刷・製本現場での実運用を想定したフローを構築。

「無人化」に到達した次の挑戦。  
新たな未来を切り拓くファクトリーオートメーションの姿を  
Horizon Innovation Park でご体感ください。

主催：ホリゾン・ジャパン株式会社 / ホリゾン・インターナショナル株式会社 / 株式会社ホリゾン

協賛：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 / ダックエンジニアリング株式会社 / 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社  
ハイデルベルグ・ジャパン株式会社 / 株式会社 JSPIRITS / コニカミノルタジャパン株式会社 / リコージャパン株式会社  
理想科学工業株式会社 / リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社 / 株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ

協力：株式会社バリューマシーンインターナショナル



最新情報はこちら

ホリゾン・ジャパン株式会社 [www.horizon.co.jp](http://www.horizon.co.jp)

|            |           |                    |           |                     |                  |
|------------|-----------|--------------------|-----------|---------------------|------------------|
| 本社         | 〒101-0031 | 東京都千代田区東神田2-4-5    | 東神田堀商ビル5F | TEL.03-3863-5361(代) | FAX.03-3863-5360 |
| 東京支社       | 〒132-8562 | 東京都江戸川区松江5丁目10-9   |           | TEL.03-3652-7631(代) | FAX.03-3652-8083 |
| 京都支社       | 〒601-8206 | 京都府京都市南区久世大藪町510   |           | TEL.075-933-3060(代) | FAX.075-933-4025 |
| 福岡営業所      | 〒813-0034 | 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 |           | TEL.092-626-8111(代) | FAX.092-626-8112 |
| 仙台サービスセンター | 〒984-0002 | 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 |           | TEL.022-782-2821(代) | FAX.022-782-3068 |



## ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の < 昭和謄写堂 > として、昭和 3 年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から 100 年に向けて今なおショーワの社員一人一人に DNA として脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

### 21 世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション & リサーチ

ユーザー会で密に情報交換

**SHOWA 会**

年間活動

○研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会  
○会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

**SHOWA 会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149**



株式会社

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2 丁目 7 番 8 号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

イメージキャラクター  
琴音 愛

# 印刷業界の 明るい未来を お客様と共に。

当社は社会と産業の基盤を支える企業活動を通じて、環境と調和し活力ある社会の実現に貢献することを目指します。

## 業務最適化ソリューション

### 印刷工程管理ソフト PRINT MANAGER



**PRINT MANAGER**  
Business e-Brain  
印刷業務・経営支援パッケージ

販売開始以来、200 社以上の導入実績を誇る印刷工程管理ソフトウェア。受注から納品、請求までの情報を視覚化し、一元管理することで、経営状況を一目で把握可能にします。生産性や利益率の向上を実現する印刷業のトータルサポートシステムです。

詳細は  
こちら▶



### 自動化・省力化のご提案



生産現場をはじめとして、印刷業界でも大きな課題となっている人手不足に対応するため、ロボット導入による自動化・省力化についてパレタイザーやロボットアームなど自動化を実現する最新機器をご紹介します、貴社に最適な活用方法をご提案いたします。

パレタイザーの  
詳細はこちら▶



印刷業界の人材採用をお考えの企業様  
◇社員紹介 ◇紹介予定派遣 ◇人材派遣 ◇業務委託などのご相談は…  
**モトヤ キャリアエージェント部**へ  
大阪 ☎(06)6358-9124 / 東京 ☎(03)3523-8719  
人材派遣業 派 27-030254 / 人材紹介業 27-ユ-030174



株式会社  
モトヤ

印刷のソリューションプロバイダー

**モトヤ**

大阪 〒530-0038 大阪市北区紅梅町 2-8 ☎(06)6358-9131(代)  
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)  
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

# 字 字 在 由

文字とつながる。  
世界がひろがる。



Morisawa Fonts

デスクトップフォント

8書体まで利用可能 **Select8** 24書体まで利用可能 **Select24** 上限なく書体を選択可能 **スタンダードプラン**

Webフォント

サイト規模やプロジェクト数などに合わせて選べるプラン  
**Webフォント / Webフォント Lite / Webフォント Pro**



morisawafonts.com



東京リスマチック株式会社

総合サポート窓口  
プリント  
デスク®

☎0120-269-132  
E-mail: support@lithmatic.co.jp

受付時間  
月～金 9:00～17:00(祝日を除く)  
※受付時間外については翌朝営業日のご案内となります。  
お急ぎの場合は営業中の店舗に直接お問い合わせください。



Lithmatic  
https://www.lithmatic.net



# 印刷業の未来を 共に創る

リコージャパン株式会社  
〒104-6033 中央区晴海1-8-10

インサツのこれからをかんがえる  
**Print Compass** Powered by RICOH



プリントコンパス 検索



# 委員が選ぶ 今月のおすすすめ番組

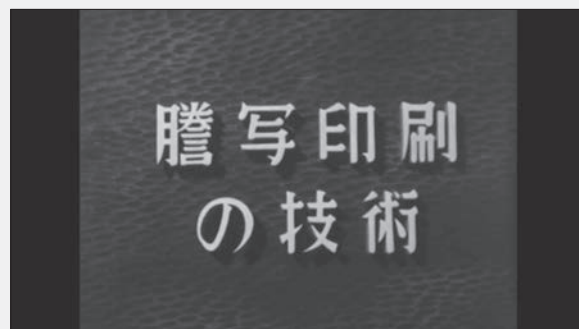
## 今月のカテゴリ：ニュース

委員が1カテゴリずつ“イチ推し”を持ち寄る本コーナー。  
今月は「ニュース」から、印刷の“原点”に触れる貴重な記録映画と、  
全国の現場を訪ねる人気シリーズをご紹介します。

**おすすすめ2**  
**工場探訪シリーズ**  
推薦…三宮健司 委員（高知／有限会社三宮印刷）  
カテゴリ…ニュース  
全国の会員企業を訪ね、現場のこだわりや工夫を映像で紹介する人気シリーズ。  
その中でも私は「善文堂株式会社（東京・文京支部）」が気に入る。『なるほど』と膝を打つ設備の使い方や職場づくりのヒントが満載。自社の次の一手を考えるきっかけにもなります。



**おすすすめ1**  
**映画「謄写印刷の技術」（昭和34年製作）**  
**ジャグラー60周年記念特別公開**  
推薦…本村豪経 前委員長（福岡／アイメディア株式会社）  
カテゴリ…ニュース  
軽印刷のルーツである“ガリ版”。昭和34年に製作された貴重な記録映画が、ジャグラー60周年を記念して特別公開されています。職人の手仕事が生み出す独特の風合いと、細部までこだわりの技法。手仕事ならではの温かみと精巧さに、いまの私たちの“原点”を見る一冊です。



▶ アクセスは「ジャグラーBB」で検索、または各番組の2次元コードから。

次号（9月号）のおすすすめカテゴリは「セミナー」。  
経営・実務に効く人気ウェビナーをご紹介します。



データで見るジャグラーBB

## この3か月、 会員が見ていたのは？

—— 2026年度 第1四半期（4～6月）

ジャグラーBBには毎月、新しい番組が加わります。このコーナーでは直近の視聴レポートから“いま見られている番組”をお届けします。今回は新年度スタートの4～6月。3か月で延べ486回が再生され、登録者数は1,210名になりました。

〔番組アクセス数の推移〕

| 月  | 番組視聴数 | 登録者数  |
|----|-------|-------|
| 4月 | 140   | 1,205 |
| 5月 | 102   | 1,206 |
| 6月 | 244   | 1,210 |

→ 6月に急増（前月比+約2.4倍）。新番組の公開や大会シーズンが後押ししたとみられます。

〔4～6月 視聴ランキング TOP10〕

| 順位 | 番組名                                    | カテゴリ  | 視聴回数 |
|----|----------------------------------------|-------|------|
| 1  | 信頼設計ビジネスマナー基本研修 2026年版（前・後・完結編）        | 教育と技術 | 57   |
| 2  | 【アーカイブス】第25回 伸び行く軽印刷展 -ニーズに応じて、今キラキラ   | ニュース  | 37   |
| 3  | 宮城県支部セミナー「生成AI時代の印刷会社の戦略」              | 教育と技術 | 25   |
| 4  | 企業ルポ No.17:株式会社グッドクロス                  | 経営    | 23   |
| 5  | 地域から生まれる グラフィックサービスの未来 ～共創で広がる三多摩の可能性～ | 経営    | 20   |
| 6  | 映像で学ぶ印刷のすべて【基礎編】第2章:工程の理解              | 教育と技術 | 16   |
| 7  | Let's ジャグラーBB登録                        | ニュース  | 14   |
| 8  | JP2023・印刷DX展「特別対談・人が育ち企業が変わる見える化」      | 経営    | 13   |
| 9  | 映像で学ぶ印刷のすべて【基礎編】第4章:印刷営業の役割            | 教育と技術 | 11   |
| 10 | Illustratorベーシックトレーニング                 | 教育と技術 | 9    |

※ 第1位は「前編・後編・完結編」の合計視聴回数。視聴数は各月レポートの集計値

〔カテゴリ別の内訳〕  
（4～6月）

| カテゴリ      | 割合  | 視聴の傾向                |
|-----------|-----|----------------------|
| 教育と技術     | 46% | 研修・DTP・生成AIなど“学び”が中心 |
| ニュース      | 20% | アーカイブス・工場探訪・業界情報     |
| 経営        | 15% | 企業ルポ・事業承継・経営対談       |
| BB ネットワーク | 10% | ワザコレ!・B Tube など会員発   |
| セミナー      | 8%  | オペレーター/経営者向けウェビナー    |



- 端末はPCが約9割:PC 447回 / スマホ・タブレット 39回。社内や会議での視聴が中心です。
- よく見られる曜日・時間:火・水を中心とした平日、とくに14～16時台に集中しています。
- 登録者は着実に増加:6月末で1,210名（4月比+5名）。まだ見ていない会員へ広げる余地は大きい。

**三三解説**  
新しく公開された番組が上位を占めました。とりわけ2026年版「信頼設計ビジネスマナー基本研修」は前・後・完結編あわせて3か月で延べ57回と、新人研修シーズンの需要をしっかりと掴んでいます。月ごとの一番人気は、4月11宮城県支部セミナー（生成AI）、5月11伸び行く軽印刷展アーカイブス、6月11完結編ビジネスマナー。なお、6月号の本欄でご紹介した「地域から生まれるグラフィックサービスの未来」も第5位にランクイン。誌面での紹介がBB視聴につながっていることがうかがえます。



野口 聡の

# 雑学コラム 44

コラム：47都道府県の話 (その 42：京都府)

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラ東京・東  
グラ文京支部のアクティブ・野口です。

今回取り上げるのは京都府です。その中でも京都の食の事を  
いくつか書いてみようかと思いますので少しの間お付き合いくだ  
さい。

まずこの時期ならではの食材として鰯（はも）の事でも。やは  
り関西の夏の食卓に涼しさを与えてくれる筆頭格ではないかなと  
思います。国内の漁獲量を見てもほぼ瀬戸内海に集中しており、  
そういう意味でも関東圏の人には少し縁が遠いのかなと。そん  
な鰯ですがいわゆる「骨切り」の技術が大前提として存在してこ  
れが丁寧（丁寧）に仕事されてないと調理もままならない。プロの調理人  
になると一寸（約 3cm）の幅に25本の包丁を入れるとのこと。そ  
れくらいしないと味が悪いしそれくらいの技術が確立されるほど  
食べたいものなのでしょう。私は今まで関西で鰯を食べたこと  
がない（関東でだって殆ど無い）ので誰か食べさせて下さい。

次は京都の地物の野菜、京野菜の話でも。京都府の HP を見  
るときちゃんと京都の伝統野菜の定義が記載されています。伝統  
野菜として定義され現存している35種の内、更に京のブランド  
産品に指定されている品種が14在ります。

これを見ると面白いのが先述の定義の中に「キノコ類・シダ類  
は除く」とあります。つまり京都と聞いてこれも話題になるであ  
ろう「マツタケ」は京野菜に認定されないという事なんですね。  
これは知らなんだ。それでも夏の鰯と秋のマツタケの短い出会  
いの産物であろう「土瓶蒸し」は一度は味わいたいものなのではし  
ょうな。誰か食べ（以下略）。改めて上記の14種のブランド野菜の  
ラインナップを見ると大概是聞き覚えがあるものです。1つ2つ  
なら分かるけどほぼ聞いたことあるって凄くないですか。だっ  
てみんなカブの品種とか知らないけど「聖護院カブ」は知ってる  
でしょ？ナスの品種だってそんなに知らないけど「賀茂ナス」は聞  
いたことあるでしょ？それってやっぱり日本人の心にその名前が刻  
まれているってことでもんね。そりゃこれだけのいい野菜があっ  
たらお漬物だって美味しいに決まってる。京都の三大漬物（千枚  
漬け、すぐき、しば漬け）全てに京野菜が使われているし、壬生  
菜や水菜のお漬物もいいですよ。これをおかずにとさらさらとお  
茶漬けも良いですね。今度京都行ったときはゆっくり錦市場の散  
策してみようかな。

さて、今回のお話はここまでです。お付き合いありがとうございました。では今月の問題です。

**問題** 冷やし中華ならぬ「冷やしラーメン」という独特な食文化  
を持ち、総務省の調査で一人当たりのラーメンの消費額が2位に  
6000円近く差をつける約25000円と発表され現在4年連続  
1位になっている日本の県はどこでしょう？

(正解は 29 ページ)

松谷の

# 突き抜ける！SPACE-21

| 連 | 載 |

## SPACE-21 幹事挨拶

SPACE-21  
幹事  
亀田 耕平  
ニッセイエプロ株式会社/  
東京・文京支部



東京グラフィックス文京支部のニッセイ  
エプロ株式会社亀田です。

この度ジャグラ青年部SPACE-21の幹  
事の命を受けました。憧れの松谷大先輩  
が代表幹事に就任されるということを知  
りてから、自分も何とかその力になりた  
いとずっと心に秘めておりました。

そんな折に松谷さんご本人から幹事就  
任の打診を頂き、そのあまりの光栄さに  
涙を堪えきれずに嗚咽と共に全てを投げ  
捨ててお任せさせて頂く旨をお伝えさ  
せて頂いた次第です。それは全部嘘で  
すが、松谷さんの右腕とまではいかないに  
しても、右小指の先くらいにはなればい  
いなと思っております。

「深く知り、広く結び、未来を創る！」  
それが松谷代表幹事の掲げるSPACE-21  
のスローガンです。

私自身も青年会は業界の未来であるべ  
きだと考えています。これからのジャグ  
ラの、そして印刷業界の未来は青年会が  
どういう盛り上がりを見せるかにかっ  
ているのではないのでしょうか。  
そんな責任も全身で受け止めながら、  
これまでお世話になってきた多くの先輩  
方の為、そしてこれからの業界を支える  
後輩たちの為に全国の青年会をつなぎ、  
熱く活動して参りますので何卒よろしく  
お願い致します。

SPACE-21  
幹事  
西谷 毅

西谷印刷株式会社/  
東京・文京支部 FACE 所属



この度FACEからSPACE-21幹事を  
担当することになりました。

お酒と食べるのが好きな44歳です。あ  
んまり世渡りがうまくいかないのがプ  
ライベートではちょっとやらかしておりま  
すが、仲間には恵まれていると思います。  
SPACE-21でも皆さんと地域を横断して  
ワクワクするようなことをできたらと思  
います。

プリネクなどの活動でもSPACE-21の  
活動には触れており何となく感覚的には  
SPACE-21を理解しているつもりでいま  
した。その実、SPACE-21が具体的に1

つ1つの青年部にどのような影響を与え  
る存在であるのか、なぜ集まっているか？  
という点は正直わかっていません。そう  
いった基本的なところをしっかりと理解して  
少しでもSPACE-21の役に立てるように  
頑張ります。

4月までFACEの会長を務めてまいり  
ました。私が会長時のFACEは「青年部  
活動への積極的な参加は学びと成長の機  
会を得ることにつながる」ということを中  
心に据えておりました。特に地域や団体  
を横断した活動は様々な広がりがあり成  
長のチャンスにつながると考えています。  
SPACE-21の幹事として、SPACE-21の  
活動を積極的に行うことで次世代の青年  
部がより活発に実りの多いものになるよ  
う、松谷代表を支えていきたいと思いま  
す。あまり器用なタイプではありません  
が、誠意をもって活動をしていきます。ど  
うぞよろしくお願い申し上げます。

SPACE-21  
幹事  
藤本 隆志

(株)東洋ビジネス/  
広島 楓翠会



広島 楓翠会 (株)東洋ビジネス 藤本  
です。

この度 ジャグラ青年部SPACE-21の  
幹事を仰せつかりました。

新代表幹事の松谷様の神輿を担ぐ一員  
となれることは大変光栄なことだと思っ  
一方で、この重責にプレッシャーもありま  
す。ですが自分なりに精一杯お役に立て  
るよう、務めてまいりたいと思っています。  
今期 松谷代表の掲げるスローガンに  
沿って まずは自分の地域である楓翠会  
を業界の垣根を越えて【深く知る】を実  
行します。

第2に地方地域から盛り上げたい【広  
く結び】と思っています。そこで新しく  
結成されたSPACE-21 四国ともにつ  
ろいろな取り組みに挑戦し、地方から盛  
り上げる動きをしていきます。

第3に四国とのつながりから山陰・九  
州と幅広く【未来を創る】繋がりたい思っ  
ています。

まだ何ができるかわかりませんが、2年  
間で一定の成果を出せるよう頑張ります！

最後に この業界では弊社を含め 将  
来を見通せない会社がたくさんあります  
その原因は古い体質にこだわりのすぎに  
いることが、原因の二つだと考えています。  
業界再編を含め まずは動くことで打開  
策が見えてくると信じています。

今 動かないことは、将来のリスクを  
負うことになります。

松谷代表幹事の代で業界が二気になっ  
ていくことができるとは思っていませんが、一  
歩 前に進んでいければと思います。

皆さんの力を合わせた協業で業界全体  
を盛り上げていきたいと思います！

## 研美社

KENBISHA.COM



スマホタッチ一秒で  
複数情報へ

ニアバイ

nearbyカード

デジタル名刺

スマホタッチ一秒で  
単一情報へ

ユーアールエル カード

URL CARD

好きな URL リンクへ一直線



1秒で交換  
1枚で無限に使える

名刺に記載する、名前・メールアドレス・  
電話番号や、SNSなどの分散している情報を  
一枚に集約できる画期的なカードです。



1秒でSNSや  
WEBページへGO!

スマートフォンにタッチするだけで、SNSや  
ウェブサイト、動画、画像、PDFなどをアプリ  
不要で表示できるICカードです。



プロフィールページに  
自分の情報を集約できる

ページ内デザインや、背景の設定も、最初  
にテンプレートから選べるのでカード発行  
後、クイックスタートが可能に！



クリエイター必須の  
作品集としても使える

写真集、動画、ポートフォリオ etc...  
作品はカード1枚で持ち歩き。  
タッチ1秒で自己表現ができます！



テンプレートがあるから  
操作も簡単

設定はアプリ要らずで、専用の編集ページ  
だけで完結。シンプルで直感的な操作  
が可能です！



自分だけのオリジナル  
デザインでカードが作れる

お気に入りの写真や自分で作ったデザインで、  
あなただけのオリジナルカードが出来ます。

# キラ星 ジャグリスト

東京文京支部

## 菁文堂株式会社 代表取締役社長 竹内靖貴

所在地 埼玉県越谷市神明町 3 丁目 418



### 菁文堂株式会社

#### 沿革

・1909年（明治42年）創業。創業当時は手製本によるノート製造を開始。  
・戦後は手帳製造にも着手し、問屋への卸業を通じて事業を拡大。  
・製本技術を磨きながら、手帳・ノートを中心とした製造体制を構築。  
・現在は、書店等で販売される手帳やノートをはじめ、企業・団体向けオリジナル商品のOEM製造を中心に、企画・設計から印刷・製本・加工・検品・納品までを一貫して行っています。

#### 支部紹介

当社は東グラ文京支部に所属しています。  
文京支部は活発な支部活動を継続しており、その活動を通じて多くの会員企業の皆様と交流する機会をいただいています。それぞれ異なる得意分野や考え方に触れることは、自社を見つめ直すきっかけとなります。

けとなり、多くの学びや気づきを得る貴重な機会となっています。  
こうしたつながりを大切にしながら、業界の発展に少しでも貢献できる企業でありたいと考えています。

#### 代表者紹介

代表取締役社長 竹内靖貴

私が大切にしたいと考えているのは、顧客満足以外に「使い手がきちんと使い続けられるかどうか」です。

近年は、見返しの細貼りの常態化（機能的にはベタ貼りの方が優れています）、コデックス仕様の流行（進撃の巨人の街の門が一つない感じです）、その他、見返しの排除、表紙の厚みを増やす傾向、ページ数の増大等々、既知のものさしではデザインと機能と想定する使用期間のバランスが取れていないものが増えてきました。

現場での様々な工夫の甲斐あって、現状、壊れたというクレームはありませんが、束見本を作っても「一年、二年使ってから作るよ」ということは当然なく、ナンダカンダ、ハラハラドキドキしています。  
弊社は「できる仕様ならやる」というスタンスなので、この悩みは尽きないのでしょうか。

対応できる体制に加え、長年培ってきた製本技術を活かし、お客様の要望に合わせたご提案を行っていることが当社の強みです。

近年では、より快適な書き心地を目指して開発したオリジナルの「菁文堂手帳用紙」を採用した商品も展開しています。

実際にご使用いただいたお客様から「書きやすい」とのお声をいただく機会も増え、ものづくりへの励みとなっています。

また、手帳・ノート・文房具に特化した展示会にも積極的に出展し、販売店やメーカー、一般ユーザーの皆様と直接お話しする機会を大切にしています。実際の声を商品開発や品質向上へ反映するとともに、菁文堂のものづくりや技術を知っていただく場として、新たな縁づくりにもつながっています。

自社オリジナル商品として、「もやちゃんノート」や「たてよこ書写箋」なども企画・販売しており、紙ならではの魅力や、新しい使い方の提案にも取り組んでいます。

近年では、クラウドファンディングに挑戦されるお客様の商品づくりをお手伝いする機会も増えています。企画段階から仕様や製造方法をご提案し、アイデアを形にするパートナーとして、新たな挑戦を支えています。

### 事業内容・ポイント

当社は、書店等で販売される手帳・ノートのOEM製造や、企業・団体向けオリジナル手帳・ノートを中心に、紙製品の企画・製造を行っています。

企画段階から製造・納品まで一貫して



もやちゃんノート



たてよこ書写箋

### 将来のビジョン、会社にとってジャグラとは

デジタル技術が進化し、情報を伝える手段は大きく変化しています。しかし、紙には紙だからこそ生み出せる価値があります。

私たちは単に製品をつくるだけではなく、お客様一人ひとりの想いや用途に寄り添い、「使ってよかった」と感じていただけるものづくりを追求していきたいと考えています。これからも長年培ってきた技術を大切にしながら、新しい素材や表現、企画にも積極的に挑戦し、時代に求められる価値を提供できる企業であり続けたいと思います。

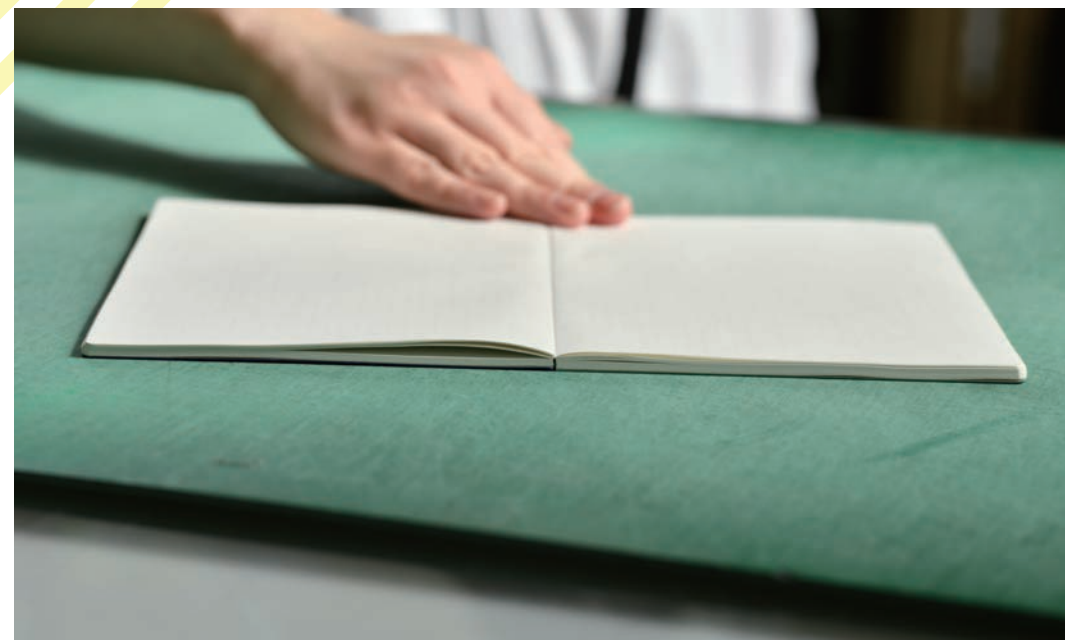
私は、ジャグラは単なる業界団体ではないと思っています。

全国にはそれぞれ異なる強みを持った企業があり、互いに学び、刺激を受けながら、同じ業界の仲間として前を向いて活動できる貴重な存在です。

業界を取り巻く環境は決して容易ではありませんが、一社だけでは生まれない発想や挑戦も、仲間がいることで実現できると感じています。

私たちもその一員として、仲間とともに印刷業界の未来を考え、新しい価値づくりに挑戦していきたいと思っています。

開き良い製本



場内均し



場内丁合



工場

## 業界の動き

## マスターズクラブ

## 大阪大会に合わせてゴルフコンペ

ジャグラマスターズクラブは6月18日、ジャグラ文化典大阪大会に合わせて、ジャグラマスターズクラブゴルフコンペを兵庫県加東市のABCゴルフ倶楽部で開催しました。

10名が参加したコンペで優勝したの



マスターズクラブゴルフコンペ後の懇親会

## 九州地協

## 福岡で通常総会を開く

九州地方協議会は6月6日、福岡・天神のアークホテルロイヤル福岡天神で第70回通常総会を開催し、役員改選で土慶一郎会長の続投が承認されました。

総会にはジャグラ本部から原田大輔副会長（当時）が出席して祝辞を述べました。



挨拶する  
原田副会長  
(当時)

## 栃木県支部

次年度関地協大会に向け  
キックオフ

ジャグラ栃木県支部は7月18日、栃木県宇都宮市のホテルマイステイズ宇都宮で第67回定期総会を開催しました。

冒頭、高橋亮太支部長が挨拶し、5月



挨拶する土地協会長

## モトヤ

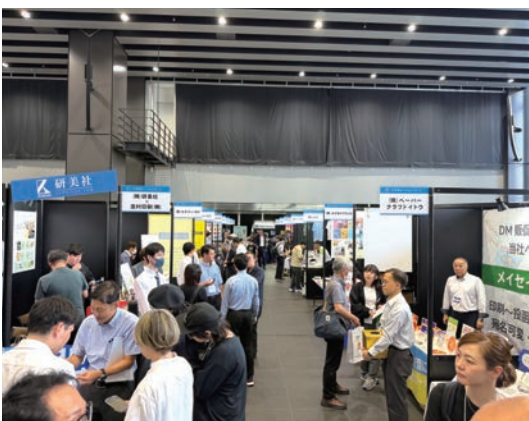
コラボレーションフェア東京を  
開催

モトヤは7月9日、10日の両日、東京・秋葉原のアカバ・スクエアで、「モトヤコラボフェア2026東京」を開催しました。

会場ではコラボレーションゾーンに多

種多様な印刷関連会社が出展し、自社のサービスや商材を紹介したほか、新規事業提案や自動化・省力化・コンセプト展示などテーマ別のエリアが設けられました。

このほか、2日間にわたりビジネスで役立つウソの見抜き方や画像生成AIの活用方法などのセミナーが開かれました。



モトヤコラボフェア会場

## 特許庁・公正取引委員会・中小企業庁

## 「知財取引指針」を掲げる

特許庁、公正取引委員会、および中小企業庁は、知的財産権・ノウハウ・データの適切な取引を目的とした「知財取引指針」をこのほど公表しました。

本指針は、企業の成長の源泉となる知的財産権等の取引環境を整備し、リテラ

シーを向上させることで、国内のイノベーションを促進することを目的としています。全業種を対象とした包括的・横断的な考え方が示されており、独占禁止法上の「優越的地位の濫用」に関する具体的な問題事例や対応策が提示されているのが特徴です。

○独禁法上問題となる行為を提示

指針では、取引において問題となり得る行為として、「出願干渉」や「知財訴訟等のリスク転嫁」のほか、共同研究開発における成果物の一方的帰属や利用制限などを挙げています。また、取引開始前におけるノウハウの一方的な開示要請や、秘密保持契約（NDA）の締結拒否、さらに知的財産権の不当な対価設定や譲渡要請（著作権の無償譲渡など）についても、不適切な事例として詳しく解説されています。これらに対し、当事者間での協議による対価の決定や、支払条件の明確化といったトラブル防止策が推奨されています。

円滑な知財取引を支援するため、指針の附属資料として「秘密保持契約書」や「共同開発契約書」、「製造・開発委託契約書」などの契約書ひな形が公表されています。これらは、取引開始前の技術・ノウハウ漏えい防止や、将来の事業展開を見据えた適正な対価設定、成果物の帰属の明確化などに活用することが期待されています。

知財取引に関する悩みやトラブルに対

## 令和8年熊本地震 義援金 ご協力をお願い

7月28日16時27分頃、熊本県で最大震度7を観測する地震が発生しました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興、復旧をお祈り申し上げます。

ジャグラとしては改めて被害状況をご報告しますが、1社の社屋が半壊という情報が入っております。そこで危機管理委員会（原田大輔委員長）は、会員の皆様に義援金を募ることとしました。本義援金は熊本県支部会員の皆様へと届けます。皆様のご協力をお願い申し上げます。（8月31日締切）

## &lt;義援金振込口座&gt;

三井住友銀行 人形町支店（212）普通594843

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

義援金口座 会長 岡本 泰（登記変更中のため、前会長名でご注意ください）

（シャ）ニホングラフィックサービスコウギョウカイ

ギエンキンコウザ カイチョウ オカモトヒロシキンコウザ

令和8年熊本地震対策本部（ジャグラ事務局） 電話 03-3667-2271

応するため、充実した相談・支援体制が整えられています。具体的には、NPO（知財総合支援窓口）や営業秘密支援窓口のほか、中小企業庁の「取引かけこみ寺」、フリーランス・トラブル110番などが設置されており、内容に応じて専門的なアドバイスを受けることが可能です。

す。また、独占禁止法や下請法に関する公正取引委員会への直接相談も受付けています。

契約書ひな形や解説動画は公正取引委員会のホームページに掲載しています。  
<https://www.jftc.go.jp/dk/chizaitorihiki/index.html>

月刊『グラフィックサービス』897号

■発行日 令和8年8月10日（毎月1回）  
■発行人 原田 大輔  
■編集人 東海林 正豊  
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16  
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006  
ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般社団法人日本情報  
経済社会推進協会指定のプライバシー  
マーク指定審査機関です

■編集部宛メール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp)

◎企画：ジャグラ広報委員会

担当理事

戸来 一裕 岩手/（株）興版社

委員長

東海林正豊 秋田/（株）東海林印刷

委員

佐藤 愛子 大分/（株）クリエイツ.  
谷山 和也 東京/ 菁文堂(株)  
野口 聡 東京/ アクティブ  
三宮 健司 高知/（有）三宮印刷  
吉田 一城 東京/（株）文洋社  
小澤孝一郎 山梨/（株）オズプリンティング  
西谷 毅 東京/ 西谷印刷(株)  
藤本 隆志 広島/（株）東洋ビジネス  
井上 貴寛 福島/（有）三共印刷所  
西岡 佐記 東京/（株）研美社  
松谷 勝広 東京/（株）松谷メールサービス

◎原稿・編集・校正

田中 良平 阿部奈津子 長野未奈美  
笠原賢一郎 賀山 良枝

以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平

◎広告 田中 良平

◎Web 阿部奈津子

◎動画 笠原賢一郎

◎組版（株）文洋社（東京支部）

DTP = Adobe CC ほか

フォント=モリサワ OTF/ モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォント  
を使用しています

◎製版/印刷（有）西村謄写堂（高知県支部）

RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf

CTP = Luxel T-6300（自現：富士フィルム XP-1310R）

刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F

印刷機 = RYOBI 924D

インキ = 東洋インキ

用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

Copyright 2026 JaGra

禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です

原則、TMや®マークは省略しています

※乱丁/落丁はお取り替えます。

【雑学コラムお題の答え】 山形県

事務局日誌と今後の予定

最新情報は HP でご確認ください

■7月の事務局日誌

- 1日 広報委員会（Web 会議）
- 2日 正副長会議（Web 会議）
- 3日 近畿地協総会（ガーデンパレス大阪）
- 4日 SPACE-21 夏の幹事会（本部）
- 7日 日印産連 労働安全衛生部会（Web 会議）→田中専務
- 8日 DTP スキルコンテスト委員会（Web 会議）
- 9日 新コンテスト検討 WG 会議（Web 会議）
- 13日 作品展委員会（Web 会議）
- 14日 日印産連・GP 推進部会（Web 会議）→田中専務
- 15日 ジャグラテスト課題制作ポイント解説セミナー①（Web）  
P マーク現地審査（石川）→田中専務
- 16日 P マーク現地審査（石川）→田中専務
- 17日 理事会（ウインクあいち）
- 18日 栃木県支部総会（ホテルマイステイズ宇都宮）→原田会長、田中専務
- 22日 日印産連ステコミ→原田会長、田中専務  
ジャグラテスト課題制作ポイント解説セミナー②（Web）
- 24日 岩手県支部総会（アートホテル盛岡）→原田会長  
神奈川県支部総会（ロイヤルホール横浜）→田中専務
- 28日 第2回会員拡大委員会（Web）
- 30日 P マーク現地審査（福岡）→笠原

■8月のスケジュール

- 2日 印刷屋さんのお仕事展（1日目）（はるみらい）
- 3日 印刷屋さんのお仕事展（2日目）（はるみらい）
- 5日 第2回広報委員会（Web 会議）
- 6日 P マーク現地審査（愛知）→笠原  
SPACE-21 幹事会（Web 会議）  
新コンテスト検討 WG（Web 会議）
- 7日 P マーク現地審査（愛知）→笠原
- 19日 P マーク審査会・個人情報保護委員会（本部）
- 26日 P マーク現地審査（大阪）→田中専務
- 27日 P マーク現地審査（大阪）→田中専務
- 28日 P マーク現地審査（大阪）→田中専務
- 31日 P マーク現地審査（長野）→長野

■9月のスケジュール

- 1日 P マーク現地審査（長野）→長野
- 2日 HOPE2026（アクセスサッポロ）（1日目）→原田会長、田中専務、笠原
- 3日 HOPE2026（アクセスサッポロ）（2日目）→田中専務、笠原
- 4日 自費出版文化賞最終選考会（吉祥寺東急 REI ホテル）→原田会長、田中専務
- 7日 正副会長会議（Web 会議）
- 9日 理事会（本部）  
日印産連 9 月印刷の月（ホテルニューオータニ東京）
- 10日 P マーク現地審査（大阪）→田中専務
- 11日 P マーク現地審査（兵庫）→田中専務
- 14日 P マーク現地審査（東京）→田中専務
- 15日 P マーク現地審査（大阪）→田中専務
- 16日 P マーク現地審査（大阪）→田中専務
- 24日 新潟大会実行委員会（新潟）→田中専務
- 25日 P マーク現地審査（神奈川）→長野
- 30日 P マーク審査会・個人情報保護委員会（本部）

事・務・局・便・り

皆様、こんにちは。事務局の賀山です。

厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。最近では、日傘を使う方を見かける機会が増えました。実は日傘は、直射日光を遮ることで体感温度を下げる効果が期待でき、熱中症対策としても注目されています。私も以前は晴れの日まで傘を使うのが煩わしかったのですが今は通勤時に活躍しております。

外出の際は、こまめな水分補給とあわせて日傘なども上手に活用し、この夏も元気に乗り切りましょう。（賀山）

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

Available on the App Store

ANDROID APP ON Google play

主催：JaGra広報委員会

ジャグリスト  
スタンプGET

JaGraアプリ & 新GS連動企画

デジタル  
スタンプラリー

SCAN ME

Scan me!  
8月のスタンプ  
QRはこちら！

参加方法

スタンプが 4 個（7～10月号）貯まったら、そのまま抽選エントリーが自動完了！

Step.1  
今月のGSを手元に  
用意する！

Step.2  
JaGraアプリの「スタンプ  
ラリー」を立ち上げる。

Step.3  
アプリ「スタンプを押す」か  
ら上記QRコードを読み込む。

Step.4  
スタンプが付いたら  
完了！来月もGET！

抽選発表  
抽選結果はGSにて発表！

7月号から10月号までの4ヶ月間、月刊GSと公式アプリが連動したデジタルスタンプラリー企画を開催します。毎月、誌面に掲載される二次元コードを JaGra アプリから読み取ると、スタンプを1つつ集めることができます。4個（4ヶ月）スタンプを集めるとそのまま抽選エントリー完了です。遡っての取得もOK！素敵な賞品が抽選で当たります。当選者の発表は11月号に掲載予定しておりますので毎月のお楽しみとしてぜひご参加ください。

先月号のスタンプ  
取得しましたか？

アプリ設定から  
ニックネームの  
変更忘れなく

会社名+氏名

# RMGT-CSPI

## ともに創る印刷の未来



RMGT-CSPIが  
SDGs達成をアシスト

印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。  
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

